

静岡県介護支援専門員協会

令和3年 熱海市伊豆山地区豪雨災害 災害支援活動報告



静岡県介護支援専門員協会
熱海市伊豆山地区豪雨災害 災害支援活動報告

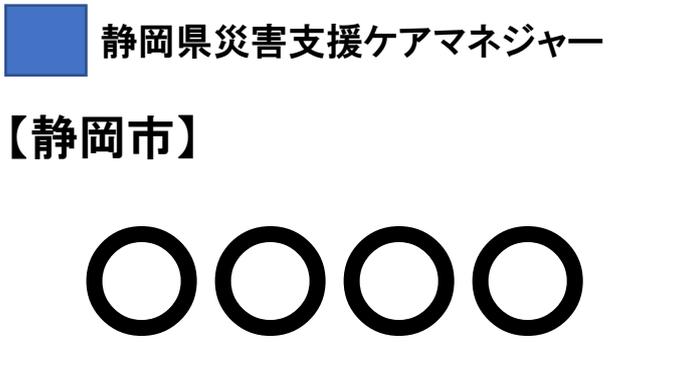
1. 令和3年7月伊豆山土砂災害の被害状況など(令和3年8月27日現在)

発生状況	発生日時	令和3年(2021年)7月3日(土)午前10時半ごろ
	発生状況	熱海市伊豆山地区の逢初川で発生した大規模な土砂災害 当時48時間で321mmの降水量、現地の7月の観測史上で最多
被害状況 (伊豆山地区内)	人的被害 (R3.8.27時点)	行方不明2名、死亡25名、中等症3名、その他25名 避難者176名 (7/4時点 避難562名 市内2カ所のホテルが避難所となる)
	物的被害 (発災当初)	半壊もしくは全壊の家屋 131棟 停電 - 1500戸余り(一部を除き、当日にほぼ解消) 断水 - 1100戸 ガス停止-392戸 熱海ビーチラインや国道135号が通行止め
その他・影響	感染症・ 避難所・ 災害ボランティア	新型コロナウイルス感染症の流行時期 熱海市内2カ所のホテルに避難所を開設 災害ボランティアの募集は県東部の住民に限定、2,800人を上回る登録あるが、2次災害の恐れがあり、当初は活動できなかった。7/21より立ち入り禁止エリアの緩和により活動開始となる。

2. 当協会の災害支援派遣活動のまとめ

活動期間	活動日時	令和3年7月10日(土)~7月25日(日) 16日間の活動
	活動時間	8:45~17:30 (状況により変更あり)
活動人員	実人員	実人員 27名 (静岡介護支援専門員協会12名、熱海市介護支援専門員連絡協議会15名)
	派遣回数	延べ派遣回数 65回 (静岡介護支援専門員協会34回、熱海市介護支援専門員連絡協議会31回)
活動場所	活動拠点	7/10~7/19 避難所 ニューフジヤホテル 全戸訪問(岸谷・浜町・土沢・鳴沢地区) 7/20~7/25 避難所 金城館 避難所 ウオミサキホテル

<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害避難者(避難所・被災地)状況把握・個別訪問と支援活動 ・ 介護相談ブースの開設・運営 ・ 熱海市の介護支援専門員等への後方支援 ・ 他団体や現地スタッフ等との情報共有や連携
<p>連携した他団体</p>	<p>静岡県保健師チーム、静岡県看護師協会、熱海市保健師チーム、市行政 D M A T (医療チーム)、D W A T (福祉チーム)、J R A T (リハビリチーム) D P A T (精神保健チーム)、歯科医師会、薬剤師会、介護福祉士会など 避難所(ホテル)・被災地域の全戸訪問など、チームを作り実施。 県看護師会は 24 時間で健康相談ブースを開設。 避難所内 2 階ロビーにて、D W A T は J R A T と合同で 1 日 2 回の健康体操を実施する。</p>
<p>活動方法</p>	<p>現地までは公共の交通機関または自家用車使用し移動する。 通いが困難な場合は宿泊を可能とする。 1 回の活動日数は、2 日間以上から 5 日間までとする。 活動する者は全国社会福祉協議会のボランティア活動保険(天災・地震保障プラン)に加入する。 コロナワクチン未接種の者は、現地にて開始前に抗原検査を受ける。 2 人以上のチームで活動し、引継ぎのためできる限り、重なる日を 1 日設ける。 活動内容の連絡については、携帯電話・LINE グループ・夕方 17:30 からの Zoom 会議で情報を共有する。 共通の書式で活動報告書を作成し、ファイルに閉じる。 活動費用については、活動にかかる実費相当分(交通費・宿泊費・食費・保険料等)を県協会で負担する。 活動支援金に関しては、日本介護支援専門員協会本部、日本介護支援専門員協会都道府県支部、県内の市町ケアマネ団体、県協会会員へ募集する。</p>
<p>おおまかな活動スケジュール</p>	<p>災害支援派遣活動の一日の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 8:45 集合 ミーティング前の活動打合せ 9:00 他のチームとのミーティング 9:30 活動場所への移動 9:45 現地到着 活動開始 11:45 午前中の活動終了 12:00 昼食休憩 13:00 行政・他チームとの熱海市全体対策調整会議(原則:月～金)に出席 14:00 午後の活動再開 16:00 報告書作成 写メにて事務局へ報告 17:30 終了

使用した備品 等	<p>活動中に使用した備品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本介護支援専門員協会の災害支援ケアマネジャー養成講座修了者の腕章(オレンジ) ・ 水色のビブス ・ 名刺ホルダー用シート <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>静岡県災害支援ケアマネジャー</p> <p>【静岡市】</p> <p>○○○○</p> </div>
-------------	--

3. 当協会の災害支援派遣活動経過の報告

(1) 活動の経過

災害対策会議 7/4(日)～7/25(日) 毎日 Zoom にて実施、17:30～1 時間程度

会長・対策委員長・副会長 2 名・委員 3 名・事務長・熱海市ケアマネ役員

日付	場所	内容
前日 7/2(金)	グループ Line	9:29 災害対策委員会のグループ Line(※)で、連絡を取り始める。 16:24 各地の警戒レベル・避難所開設の状況報告があがり始める。 ※ グループ Line (名称:静岡県介護支援専門員緊急連絡網) メンバーは、会長・副会長・災害対策委員・事務局等
発災当日 7/3(土)	グループ Line	7:38 沼津市の浸水被害の報告があがる。 13:27 熱海の土砂崩れの報道から情報を集め始める
2 日目 7/4(日)	グループ Line	8:00 村田会長より本日 13:00 に Zoom にて、災害対策本部の立ち上げの連絡。 10:58 日本介護支援専門員協会へ報告、災害対策特別委員会担当副委員長より連絡。 11:05 熱海市災害救助法適応の確認。
	Zoom 会議	13:00 第 1 回災害対策委員会 ・熱海市の災害状況・被災者や避難所の状況 熱海市ケアマネ報告：市内で介護タクシー1 台流されるが、全介護サービス事業所に大きな被害はないと報告あり。 ・熱海市以外の被災状況の把握

3 日目 7/5(月)	報告	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県庁へ報告、災害対策本部の立ち上げと災害での法定研修が受けられない者の確認(協会への受講不可の連絡はない) ・日本協会へ報告、の各市町の初動期の報告(6 市町分を報告)
	Zoom 会議	<p>17:00 第 2 回災害対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣要請に備えて、派遣者のリストアップを始める。 日本協会の災害ケアマネジャーのリスト確認。 コロナ禍でワクチン接種が進んでいない中で協力は得られるのか心配される。 ・熱海市ケアマネ報告：通行止めで市内分断、規制線が貼られデイ送迎・ヘルパー訪問で車を止められる。郵便物が届かない。 事業所 3 カ所で水道が止まっている ケアマネジャーの全員無事の確認はできている。 熱海市は「シズケア*かけはし」ICT の活用で行政・医療機関と連携ができている。 ・DWA T(福祉チーム)の動きの確認 7/6 に県社協現地入り
4 日目 7/6(火)	状況	県保健師と県社協(DWA T)が現地入り、避難者の状態把握を今後行なっていく。
	報告	・静岡県庁へ、熱海市への支援活動の準備ができていると報告。
	Zoom 会議	<p>17:30 第 3 回災害対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱海市ケアマネ報告：避難所は市内の 2 カ所のホテルに分散している。 避難所(ホテル)派遣の医師から訪問看護の利用が止まったまま、状態が悪化しているとの報告があった。 避難所派遣医師より、現地で使えるアセスメント票の問い合わせがあり、日本協会で作成したものを紹介した。
5 日目 7/7(水)	通知	県内東部地区の協力団体・会員へ、災害支援の現地派遣依頼を通知する。
	Zoom 会議	<p>17:30 第 4 回災害対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱海市ケアマネ報告：熱海市の対策会議で熱海ケアマネ連協会長より、県ケアマネ協会で派遣要請があれば、活動できるように準備をしていると報告した。 伊豆山地区では水道ガスの復旧のめどがわからないと不安 伊豆山地区以外でのバスの運行が止まっている 受診や買い物ができない ケアマネの避難所調査への関わりについて、熱海市行政と現地派遣医師と考え方が違う。 災害前に担当している利用者の状況把握はできている。避難所の利用者は代替サービスの利用で何とかできている状況との判断の違いあり。 ・支援活動をしていく際の準備(保険・持ち物・心構えなど)を検討。
6 日目 7/8(木)	Zoom 会議	<p>17:30 第 5 回災害対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱海市ケアマネ報告：デイサービス 1 カ所、1 カ月程度休止。 薬剤師が服薬を届けるなど、規制線の先への訪問ができない。 水道停止中、脱水や熱中症など自宅で生活をしている利用者の安否確認の必要。 ・県保健所所長より派遣依頼あり、明日 7/9 村田会長・林災害対策委員長が現地入りし、打ち合わせをする。 ・派遣可能者リスト 10 名登録 ・現地の地域包括支援センターとの連携やDWA Tとの協力を探る。 現時点では、DWA Tの活動人員は足りている。

7 日目 7/9(金)	調整 会議	13:00～ 熱海市連絡調整会議に村田会長・林災害対策委員長、熱海市ケアマネ出席 県保健所所長が進行、市担当者・DMAT・DWAT・JRAT・歯科医師会・ 看護協会・保健師・薬剤師・ケアマネ等 20名ほど参加 避難所(ホテル)内の支援・個別訪問などについて打ち合わせ
	Zoom 会議	17:30 第6回災害対策委員会 ・明日7/9より災害支援活動派遣を開始する。 活動内容は、保健師・DWAT等と同行し、避難所内の個別訪問・被災地周辺の 個別訪問の予定。 ・熱海市ケアマネ報告：水道が復旧し始めている。 避難者の一時帰宅の希望予約が始まった。 避難者のコロナ感染予防の意識が低い。 避難所から次の住まいへのトリアージは誰が行なうのか疑問。
8 日目 7/10(土)	災害 支援	災害支援派遣1日目 県協会2名・熱海市介護支援専門員連絡協議会(以下＝熱海連協)4名活動 全戸訪問(DMAT・保健師と2チームで91件訪問 5件自宅生活を継続確認)
	Zoom 会議	17:30 第7回災害対策委員会 ・派遣要請ケアマネジャーへの連絡事項・注意事項・心構えを作成する。 ・避難者500名中200名の要援護者がいるどこまで調査可能か。 ・熱海市ケアマネ報告：規制線先の訪問を止められて手間取ってしまう。 すでに地域訪問をしている団体が2カ所ほどあるが、張り紙をしているため、 留守だということがわかってしまう。
9 日目 7/11(日)	災害 支援	災害支援派遣2日目 県協会2名・熱海連協6名活動 全戸訪問(浜町23件訪問)、避難所(ホテル)内の訪問
	Zoom 会議	17:30 第8回災害対策委員会 ・熱海市ケアマネ報告： LINEのネットワークで地域のケアマネ同士連絡を取っている。 ・避難者アンケートを検討する。アンケート案を作成。
10 日目 7/12(月)	災害 支援	災害支援派遣3日目 県協会2名・熱海連協6名活動 全戸訪問と避難所内の訪問
	調整 会議	13:00～ 熱海市連絡調整会議に出席 避難者アンケートの実施は見送り
	Zoom 会議	17:30 第9回災害対策委員会 ・災害支援金の募集を検討する。 ・避難所訪問について、担当ケアマネがいる、いない場合の調整先を確認する。 ・Zoom会議に参加していない派遣要請ケアマネジャーとの情報共有が行なわれてい ないため、Zoom会議に参加できるように検討する。
11 日目 7/13(火)	災害 支援	災害支援派遣4日目 県協会2名・熱海連協1名活動 全戸訪問(土沢・鳴沢地区)と避難所内の訪問
	調整 会議	13:00～ 熱海市連絡調整会議に出席 情報共有
	Zoom 会議	17:30 第10回災害対策委員会 ・熱海市ケアマネ報告：一時帰宅が中止になる。 ・明日より介護相談ブースを開設。
12 日目 7/14(水)	災害 支援	災害支援派遣5日目 県協会2名・熱海連協1名活動 避難所内の継続ケースの訪問

		本日より介護相談ブースを避難所内に開設する。本日相談件数0件。
	調整会議	13:00～ 熱海市連絡調整会議に出席 ・ニューフジヤホテルの避難所は7/20朝食まで延期。
	Zoom会議	17:30 第11回災害対策委員会 情報共有
13日目 7/15(木)	災害支援	災害支援派遣6日目 県協会1名 介護相談3件
	調整会議	13:00～ 熱海市連絡調整会議に出席 ・今の避難所は7/20朝食後に閉鎖、その後2カ所のホテルが避難所となる。 ・避難者のコロナワクチン接種を優先して7/19と7/20にバス送迎で行う。
	Zoom会議	17:30 第12回災害対策委員会 情報共有
14日目 7/16(金)	災害支援	災害支援派遣7日目 県協会1名・熱海連協1名活動 避難所内の4件訪問(1件包括同行)・介護相談3件 読売新聞取材
	調整会議	13:00～ 熱海市連絡調整会議に出席 ・避難者への住宅相談会の受け、今後の住まいのアンケートが始まる。
	Zoom会議	17:30 第13回災害対策委員会 熱海市行政と派遣活動終了の調整 来週中に引継ぎし活動終了
15日目 7/17(土)	災害支援	災害支援派遣8日目 県協会1名・熱海連協1名活動 避難所内の4件訪問・介護相談1件
	Zoom会議	17:30 第14回災害対策委員会 ・避難者330人のうち90名がワクチン接種を希望、19日と20日に実施する。 ・数日で派遣職員が入れ替わるため各派遣チーム内の引継ぎや派遣チーム同士の情報共有が不十分 ・次の避難所での介護相談ブースの設置について
16日目 7/18(日)	災害支援	災害支援派遣9日目 県協会2名・熱海連協1名活動 避難所内の6件訪問(事業所調整4件・介護相談1件) 掲示板にて緊急安全確保の区域の緩和の発表がある。
	Zoom会議	17:30 第15回災害対策委員会 ・20日の朝、避難所を移る際の準備
17日目 7/19(月)	災害支援	災害支援派遣10日目 県協会2名・熱海連協2名活動 避難所内の7件訪問(事業所調整4件)・介護相談2件 次の避難所での部屋割りの発表
	Zoom会議	17:30 第16回災害対策委員会 ・避難所移動への対応
18日目 7/20(火)	災害支援	災害支援派遣11日目 県協会3名・熱海連協1名活動 避難所内の4件訪問(事業所調整1件)・介護相談1件 2カ所の避難所へ移動、金城館とウオミサキホテルに分かれて支援 金城館に介護相談ブースを設置。
	Zoom会議	17:30 第17回災害対策委員会 2カ所の避難所の生活環境の確認。 部屋や浴室の段差など問題がある。
19日目 7/21(水)	災害支援	災害支援派遣12日目 県協会3名・熱海連協1名活動 避難所内の6件訪問(事業所調整2件・更新申請1件)・介護相談1件

	Zoom 会議	17:30 第18回災害対策委員会 熱海市ケアマネより、避難所の各機関から同じような連絡が来て困るとの連絡 連絡窓口1本化が必要。周知できるか。
20 日目 7/22(木)	災害 支援	災害支援派遣 13 日目 県協会 3 名・熱海連協 1 名活動 避難所内の 4 件訪問・介護相談 2 件
	Zoom 会議	17:30 第 19 回災害対策委員会 熱海市行政・介護支援事業所連絡会の居宅部門や包括へ活動を引き継ぐ 引継ぎ書類等の作成
21 日目 7/23(金)	災害 支援	災害支援派遣 14 日目 県協会 2 名・熱海連協 1 名活動 避難所内の 4 件訪問・介護相談 1 件 ダンボールベッドの配置等確認 熱海市行政との引継ぎ
	Zoom 会議	17:30 第 20 回災害対策委員会 熱海市への業務引継ぎ 避難者情報リスト(当協会作成)を作成し渡す 熱海市行政との引継ぎ 1 日の活動の流れなど 県看護協会 7 月末で活動終了
22 日目 7/24(土)	災害 支援	災害支援派遣 15 日目 県協会 2 名・熱海連協 2 名活動 避難所内の 3 件訪問・介護相談 1 件
	Zoom 会議	17:30 第 21 回災害対策委員会 今後、担当ケアマネが対応する体制が整ったため、明日の活動にて終了とする。
23 日目 7/25(日)	災害 支援	災害支援派遣 16 日目 県協会 2 名・熱海連協 2 名活動 避難所内の 3 件訪問・介護相談 2 件・電話相談 1 件
	Zoom 会議	17:30 第 22 回災害対策委員会 本日をもって災害支援派遣活動を終了とする。 今後 ・活動報告のまとめ ・活動の振り返り(アンケート実施) ・活動報告会の実施 を行うことについて決定する。

4. 活動の振り返り

熱海市の大規模災害への対応について(振り返り)の会議 (Zoom)

日 時 令和3年9月3日 17時30分～18時30分

参 加 会長・対策委員長・副会長2名・委員5名・熱海ケアマネ2名・事務局1名
日本介護支援専門員協会災害担当常任理事(坪根)及び災害対策委員長(清尾)

(1) 災害支援派遣者アンケート結果から見えた今後の課題

○ 現地で活動する際の物資や環境面について

- ・当協会の活動であることが一目でわかる着用物が必要だった。
災害支援ケアマネジャーの腕章を持っている人が少なかった。
今回、急遽 ビブス(水色、名称のプリントはしていない)を購入した。

- ・ 支援業務を迅速化、簡略化する機器があると助かる。
活動報告書の作成等に使用するパソコンとプリンター、通信環境(ポケットWi-Fi)など。

○ 現地で活動できる人員について

- ・ 活動できるケアマネがまだまだ足りない。
- ・ 土地勘や地域情報を持っている地元のケアマネが早期に活動できる体制を事前に準備できていると助かる。
- ・ 災害支援ケアマネジャーの育成研修や災害支援時の心得などを含めた伝達研修を実施する必要がある。

○ 連携や臨機応変に対応できる体制の整備が必要

- ・ 今回は、避難所がホテルということもあり、何をしたらよいか分からない状況があった。
- ・ 熱海市ケアマネ団体が熱海市連絡調整会議に参加していたが、求められる役割（避難所での支援が必要な方へ具体的支援につなげる。フレイル予防など早期の対策にむけてなど）が大きく、熱海市ケアマネ団体だけでは対応できない状況があった。
- ・ 派遣前に、現地の市町ケアマネ団体（地域組織）との綿密な打ち合わせ及び市町ケアマネ団体の会員や行政への根回しが必要だった。実際にどのような活動を期待されているかを他団体にも確認して、活動内容のすり合わせを検討できればよかった。
- ・ 熱海市のケアマネと支援団体との連絡調整役が求められた。DWAT や県健康づくり課などの活動を遮らない範囲で、地元のケアマネとの連絡を一本化して、災害派遣ケアマネが連絡を取り合うシステムを構築する必要がある。
- ・ 活動支援をおこなっているつもりが、担当ケアマネに他団体からも同じような問い合わせや要望があり、粛々と業務を行う地元のケアマネの負担になることがあった。避難所内での、個別支援の進捗状況や他団体からの支援内容などの全体の把握役が必要であった。
- ・ 市町独特の災害時対応（災害対応マニュアル、特にケアマネの関わりなど）について作成し、共有ができていれば、もっとスムーズに対応ができた。

○ その他の意見

<熱海市ケアマネ団体の声>

- ・ 支援活動に係る事務作業(支援活動募集と派遣調整、報告書の作成、活動物品の用意、ボランティア保険の一括入会、会計報告など)を対応して頂きありがたかった。
- ・ 不安な中で、現場の声をきいて頂いて心強かった。
- ・ 現地のケアマネにもボランティア保険加入や活動支援金など財政支援をして頂きありがたかった。

<県協会の声>

- ・ 被災地の方への支援をおこなうが、熱海市ケアマネ団体への後方支援であることを忘れてはいけない。
- ・ 混乱時期は、県協会が主にかじ取りをしながらおこなっていくが、その先は熱海市ケアマネ

団体が自分たちで活動できるようにしていくことが大事。被災地の行政やケアマネ団体、関係機関の持っている力を奪ってはいけない。

- ・今後の災害支援活動において、県協会からの派遣者は、市町ケアマネ団体（地域組織）や個別の居宅事業所と連絡を取る役割を担うことを伝える。申し送りの時間には積極的に経過を報告することが大切。被災地での居宅介護支援事業所等の個別支援ニーズに対応ができるのは、現地のケアマネ以外では、県協会や日本協会から派遣されたケアマネだけではないかと考える。

(2) 現在の熱海市ケアマネ活動や現在の課題

- ・地域の復興状況など、生活支援等の情報を入手して発信している。
- ・市社協運営の「支えあいセンター」の後方支援（情報発信など）をしている。
- ・現在の課題は、避難所から自宅にもどってきている方は、もともとのコミュニティの中で生活できるので地域の支えあいで何とかなっているが、県営住宅など住まいが被災前と違う方については支援の分断がおこっている。対応を模索中。

(3) 県協会の今後の活動について

- ・市町ケアマネ団体（地域組織）にむけて、今回の災害支援派遣の取り組みを報告する。
- ・市町団体とのオンラインでの通信環境の整備
- ・災害支援ケアマネジャーの増員
- ・各事業所でのBCP作成にむけての支援
- ・各ケアマネへの災害時リスク・アセスメントシート等（日本協会作成）の活用の周知
- ・市町ケアマネ団体（地域組織）に向けて、平時に発災時の県協会や日本協会の活動内容の報告や活動の実績紹介を行なっていく。
- ・県協会と連携できる市町独特の災害時対応のマニュアル作成を進めていく。